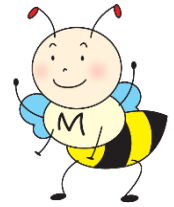




まなびやニュース



大漁旗，作ってます！

「調布市パラアート展2022」に出品すべく，鋭意創作中です。



絵の具の好きな色を筆や手に付け、筆を振って絵の具を散らしたり、手や指に付いた絵の具でとんとんと優しく色を重ねたり、みなさんと楽しそう。自由にのびのびと描いていらっしやいました。それぞれの色の重なりは、まるでみなさんひとり一人の想いのよう。個性豊かな作品が仕上がりました。完成作品は「調布市パラアート展(詳細は下記参照)」で展示されます。お時間がありましたら、ぜひ足をお運びください(新山)。



パラハートちょうふ

つなげよう，ひろげよう，共に生きるまち

「パラハートちょうふ」という言葉には、「市内外の多くの方々が、障がいに対する理解を深め、ひとり一人が寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる共生社会を実現したい」との思いが込められています。この取組の一環として、市内の福祉作業所などで活動するメンバーの作品を展示する、「調布市パラアート展」が開催されます。

調布市パラアート展2022

開催期間 令和4年8月25日(木)~31日(水) 10:00~18:00

*入場無料

会場 調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー

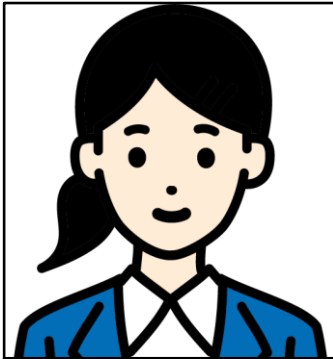


調布市パラアート展
PaRaART 2022

若い力！

東洋大から実習生が来てくれました。

まなびやでは、7月4日(月)から7月8日(金)までの5日間、東洋大からの実習生を受け入れました。短い期間ではありましたが、“若い力”とのふれあいに、ご利用者、職員ともども、たくさんの良い刺激を受けることができました。今後のご活躍を期待しています。さてここで、実習生2名のコメントをご紹介します。



Wさん

●まなびやでの5日間はいかがでした？

初めは緊張で何もできませんでしたが、職員の方々の指導や温かく受け入れてくださるご利用者のみなさんのおかげで、大変勉強になる5日間でした。利用者の方と同じ目線に立つことの大切さを目で見て感じる事ができました。

●最も印象的だったことは何ですか？

職員の方々が事前、事後の情報共有をしっかりと行っており、職員同士の連携を目にすることができました。また、あるご利用者の方が、好きなバレーボール選手について教えてくださったことが嬉しかったです。

●まなびやでの5日間はいかがでした？

様々な介助をさせていただき、実践的に学ぶことができました。排泄介助では適切な介助の姿勢を教えていただき、食事介助では多様な食形態があることを学びました。また、ご利用者の方々への、話し掛けの様子も印象的でした。

●最も印象的だったことは何ですか？

コミュニケーションを重ねる中で、ご利用者の方の感情が見えた瞬間が最も印象に残っています。言語コミュニケーションが困難な方についても、表情の細かな変化に気づけることが増えました。こちらの想像力が大切だと感じました。



Iさん

笹の葉さらさら…

気が付けば七夕。短冊に願いをしたためました。



今年の七夕飾りは、いつもと違う雰囲気です。☆☆☆多目的室の壁に笹を用意、風に揺れサラサラと音はしませんが、皆さん瞳をキラキラさせながら、たくさんの願い事を飾りました。皆さんの願い事が叶いますように。(安藤)

(社福) 調布市社会福祉事業団 調布市デイセンターまなびや

〒182-0032 調布市西町290-47 E-Mail manabiya@jigyodan-chofu.com

TEL : 042(442)9552 FAX : 042(442)9553